11月　パレスチナ総選挙で未来をひらく連帯を!

パレスチナの子どもが描いた 絵画展

9月22日（火休）14:00～17:00
9月23日（水休）10:00～15:00

入場

戦火に焼かれる町を描く↑　（パレスチナの子どもの絵画）
左の男性「80歳になるが、こんな惨状は見たことがない」
右の泣く人物「私には、安全で安定した環境で生きる権利がある」

パレスチナからデータで送られた子どもの絵画のほか、非暴力の抵抗など現地の写真を展示します。ぜひ、お立ち寄りください。

主催　ZENKO（平和と民主主義をめざす全国交歓会）-滋賀
連絡先 090-6323-4858（峯本）　090-4562-7448（岩崎）

会場	平和と市民自治のまち大津をともにつくる会／中川てつや事務所／ZENKO・滋賀 共同事務所（大津市長等2丁目8番2号）

〈20年ぶりの歴史的な選挙〉

今年11月28日、パレスチナで20年ぶりの総選挙（立法評議会選挙）が予定されています。パレスチナ人民が自らの意思で代表を選び政治体制を確立し、長く続いた分断を克服していく歴史的な機会となります。

〈軍事攻撃、占領をやめろ〉

イスラエルによって、ヨルダン川西岸地区では違法な占領と入植地の拡大、軍事侵攻が続き、ガザ地区では甚大な破壊と住民追放・虐殺が引き起こされています。全てのパレスチナ人が、安全かつ自由に選挙に参加するためには軍事行動の停止が不可欠です。

〈日本政府は占領に加担するな〉

自らの代表と政治的将来を選択する権利はパレスチナ人にあります。イスラエルや米国をはじめ外部勢力による圧力、介入、干渉、妨害は許されません。日本政府・企業はイスラエルへの軍事協力をやめ、公正な選挙実施に務めるべきです。

ともに作ろう!
平和と自由、人権の国

高市政権に外交努力を求める署名

1　安全で公正な選挙の支援
2　攻撃の停止要求
3　軍事協力の停止
4　パレスチナ国家の承認

労働組合再建、パレスチナの未来をつくる募金

非暴力で命と権利、平和をもとめ闘うPWSU（パレスチナ労働者闘争ユニオン）を支援する募金にご協力を。

- ワークショップ
- 食料・物資の供給

署名、募金は会場でできます